

国内初 陸上養殖アトランティックサーモン由来 未利用部位の活用について

令和6年度MaOI-FS事業

事業者： Proximar 株式会社

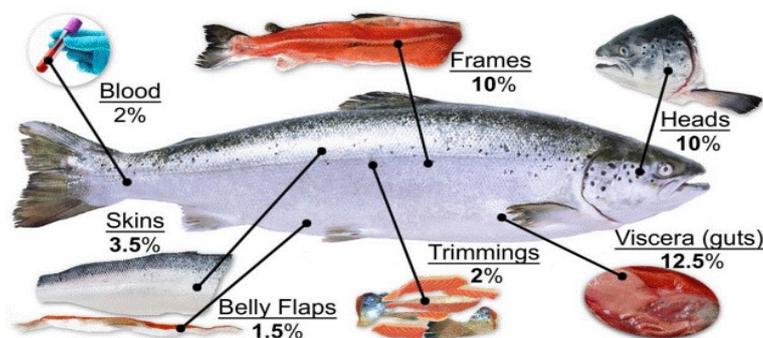
○ 事業概要

閉鎖循環型陸上養殖アトランティックサーモンにおける未利用部位を対象に栄養組成を評価することで副産物の活用および商品化に向けた可能性の探索を実施した

○ 背景

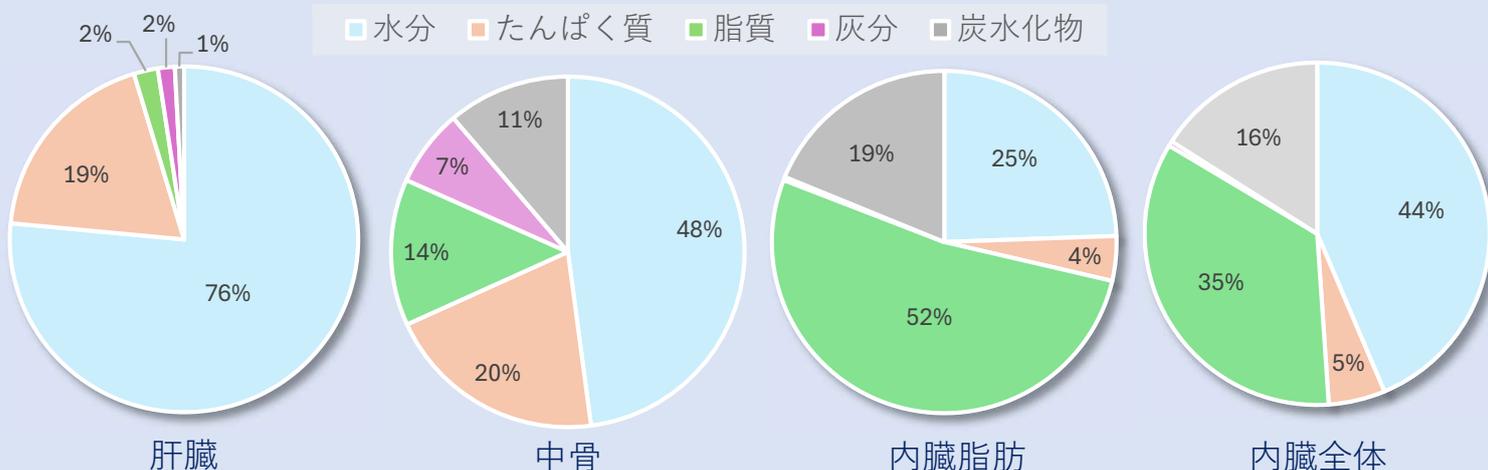
年間5,300トン規模の生産では魚体重量の約40%が副産物として発生する本副産物を有価資源として活用することは経済性・ESG対応・地域循環の観点から重要であるためMaOI-FS 事業にて初期的な成分分析を行った

◆アトランティックサーモンの組織構成比



部位	数量	構成比目安
原魚	6,300MT	100%
身	3,776MT	59%
内臓	832MT	13%
頭	640MT	10%
中骨	640MT	10%
皮	256MT	4%
血	128MT	2%
ハラス	95MT	2%

○ 分析結果



いずれのサンプルにおいても重金属・大腸菌等は未検出であり
抗生物質・ワクチンを全く使用しない安全な副産物として供給可能であることが確認された

○ 今後の予定

食品・化粧品・飼料メーカーとの協業を通じて
これらの副産物を機能性素材として高付加価値製品へと展開することを目指し
製品化および研究開発における共創パートナーを探索する予定

○ここに注目：大規模陸上養殖は、安定した品質・生産計画を実現する次世代の水産業で近隣に関連する産業が集積することで地域が活性化することが期待されます。活用に向けて引き続き検討しましょう。